

長野の林業

平成27年4月10日発行
長野の林業編集委員会

No.303

もくじ



新任ごあいさつ	……長野県林業大学校長	……2
特集	平成27年度 長野県林務部の主要施策の概要	……3
森の元気情報	……木材利用工法の優良工事事例コンテスト	……6
	「森林の里親促進事業」CO ₂ 吸収評価認証制度	……7
ナルホド!!耳より情報	……林業経営団地内の路網管理	……8
お知らせ	……人事異動 中部森林管理局／長野県	……9
県森連だより	……	……10
長野県の木材市況	……	……12



平成27年3月に林業大学校実習棟と女子寮が完成しました。

県林業大学校の伝統の 継承と人づくり



長野県林業大学校
校長 宮崎 広雄

この度、四月一日付で長野県林業大学校校長を拝命いたしました。

私が県に奉職した昭和五十三年に大学校が建設され、五十四年に開校。今年の新入生で第三十七期、校長も二十代目となります。

歴史を重ねた林業大学校の伝統を引き継ぐとともに、「農山村地域にあつて指導的な役割を果たす技術者並びに林業後継者となる有能な人材を養成する」との教育方針に基づき人づくりに専心努力いたします所存でございますので、皆様の御支

援をお願い申し上げます。

さて、新任の校長となり、生徒の顔を見ぬ間の決意を記すこととなりました。

実感が伴わない中ですが、教育方針を読ませていただき、何故か「宮沢賢治」が思い浮んでまいりました。

農村の近代化に奔走した彼のような人材に当林大生が育つていただければ有難いと不遜にも考えたところであります。

当校の特徴としている「全寮制による全人教育」において、様々な環境で育ち、林業に対する志を持った四十人の人材が濃密に交わることができるとは、『大才は袖触れ合う他生の縁もこれを活かす』という言葉がありますように、必ずたくさんの方の宝と生涯の友人を得ることができるのではないのでしょうか。

常に謙譲の姿勢を持つて、お互いを尊重する中で、二年間の共同生活を有意義にごしていただきたいと思います。

ところで、昨年、木曽地域は南木曽の土石流災害、御嶽山の噴火と未曾有の災

害に見まわれました。被害に遭われた皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々と御遺族の皆様に対し、深くお悔みを申し上げます。

木曽の地に立つたばかりでございますが、地域の皆様が当大学校に大きな期待を寄せられていることを強く感じております。地域の皆様とともに復興に向けたお手伝いや、地域の催事に参加させていただき、地域との絆を大切にする大学校でありたいとも考えています。

県職員として最後の年に今後の林業を担う人材育成という大役を仰せつかり不安で一杯でございますが、当校の掲げる全人教育、地域との絆といった伝統を途絶えさせることなく、一層発展させるよう努める所存でございます。

皆様方の一層の御支援と御協力を重ねてお願いいたします、就任の挨拶とさせていただきます。



平成二十七年 長野県林務部の主要施策の概要

「森林を活かし 森林に生かされる」
「私たちの豊かな暮らしの実現を目指して」 森林政策課

平成二十七年の長野県林務部の主要施策は、「森林づくり指針」の基本目標『森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし』の実現に向け、昨年相次いで発生した災害の教訓を活かして、防災・減災対策を積極的に推進するほか、人口定着と確かな暮らしの実現に向けて、「森林県」から「林業県」に飛躍するための取組や当県の豊かな森林資源を活かした森林産業の創造を着実に進めます。また、全国植樹祭の開催準備や「信州 山の国」の取組等を通じて当県の森林の魅力積極的に発信するなど、みんなで支えるふるさと森林づくりを進めます。

平成二十七年林務部一般会計は、百八十二億二千五百七十三万六千円、対前年度比九十三パーセントの予算を編成しました。また、国の経済対策として、十六億四千二百八十万一千円の二月補正予算も編成しました。

森林づくり指針に掲げる三つの基本方針に基づき、主な施策について説明します。

みんなの暮らしを守る森林づくり

県民の皆様が安全で安心して暮らし続けられるように、森林の持つ多面的な機能の向上を図り、森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくため、手入れの遅れた森林の間伐を計画的に推進するとともに、特に山地災害防止機能を重視する森林においては、森林整備と治山施設設置を一体的に行う「災害に強い森林づくり」を推進します。

① 災害に強い森林づくりの推進

山地災害による崩壊地の早期復旧を行うとともに、山地防災力の強化を図るため、森林整備と治山施設整備を一体的に実施します。昨年の様々な災害の教訓を活かし、安全で安心して暮らせる県土づくりを目指し、新たに、航空レーザー測量の活用等による山地災害の事前防災にも取り組み、森林の防災・減災対策を推進してまいります。

また、松林の健全化対策については、市町村との協働に



より広域連携を強化し「守るべき松林」での適期の伐倒駆除を重点的に実施してまいります。

予防対策として代替する方法がない森林においては、安全性に最大限配慮した空中薬剤散布の実施に努めるとともに、市町村が行う効果検証や地域住民への説明会を支援し、県民の皆様の御理解を得るよう努めてまいります。

【関連事業】④治山事業（公共・県単）（六十一億九千三百九十五万一千円）

うち、④山地災害の危険度情報整備事業（一億五千万円）

② 計画的な間伐の推進

喫緊の課題である間伐を森林づくりアクションプランに基づき計画的に推進するため、国の造林補助制度や森林づくり県民税を活用し一万九千ヘクタールの間伐を実施します。

また、ふるさとの森林づくり条例に基づき、公益的な機能を高度に発揮すべき森林（森林整備保全重点地域）の指定を進めるとともに、新たに長野県企業局からの支援金を活用して市町村などが行う、重点地域の奥山の水源林を保全するための間伐等の取組を支援してまいります。加えて、成熟しつつある森林資源の利活用による継続的な森林づくりを推進するため、間伐材搬出量を十七万一千立方メートル以上とすることを目標に、間伐材を搬出する取組を強化します。



【関連事業】④信州の森林づくり事業（二十一億五百三十九万二千円）

うち、④豊かな水を育む森林づくり事業（二千四十万円）

③ 実行性のある森林計画制度の確立

平成二十七年には、森林の適切な管理や利用を進める地域森林計画を、松本、北安曇地域を区域とする中部山岳地域について、地域の実態に即した今後十年間の計画を策定します。

また、森林・林業行政の基盤となる森林情報の利用及び提供体制を充実させ、森林経営計画の策定を促進します。

【関連事業】④地域森林計画編成費（二千九百五十一万九千円）

木を活かした力強い産業づくり

本県の有する豊富な木材資源の活用による地域づくりを進めるため、計画的

な木材生産、県産材製品の安定供給、建築、エネルギー等への県産材の利用促進に総合的に取り組み、林業・木材産業が健全な森林づくりに貢献しつつ、循環型社会を支える地域の基幹産業として発展するための振興を図ってまいります。

① 林業経営団地の設定及び林内路網整備等の推進

持続的な森林経営が図られるよう「林業経営団地」一万九千七百ヘクタールを県内各地に設置するとともに、県産材を効率的、安定的に供給する基盤となる林道、林業専用道や森林作業道などの林内路網、百二十三キロメートルの計画的な整備を推進します。

また、木材の生産コストの低減と労働安全性の向上を図るため、高性能林業機械の導入を支援するとともに、安全で効率的に操作を行うことのできる人材の養成研修を実施してまいります。

【関連事業】④林業再生総合対策事業（一億六千三百三十万円）

⑤高性能林業機械導入推進事業（一億三千六百八十九万二千元）

② 担い手対策の推進

林業大学校において、木材の生産から利用、地域振興まで、長野県林業の未来を切り拓く実践的な林業後継者等を育成するとともに、活発な素材生産活動による継続的な森林づくりを推進するため、国の「緑の雇用」事業を活用し、新規参入者の就労促進、林業技術の研修、就労環境の整備、労働災害の防止対策等の林業労働力対策を関係機関と連携して総合的に進めます。

また、本県独自の取組として、森林づくり県民税を活用し、地域づくりから、森林管理や木材利用まで幅広い知識と経営感覚を持ち、総合的な視野で地域林業の全体を指揮できる「信州フォレストコンダクター」を引き続き、育成してまいります。

【関連事業】④林業大学校費（三千二百二十八万八千円）

⑤信州フォレストコンダクター育成事業

（四百五十八万一千円）

③ 県産材の生産加工流通体制整備の推進

本県の新しい林業・木材産業の創生の起爆剤となる信州F・POWERプロジェクトについて、本年4月に製材工場の稼働が開始されることを契機に、安定した原木供給を実現するため、「サプライチェーンセンター」を中心とした県産材安定供給体制の構築を進めるとともに、県内外の製品需要に対応するため、信頼性



の高い県産材製品の安定的な供給を図る加工・流通施設の整備に対し支援してまいります。

また、本県の新しい林業・木材産業創生の取組として、関係団体と連携のもと林業先進国であるオーストリアと林業技術の一層の交流を進め、先進的で低コストな木材生産や木質バイオマス利用技術の導入、人材の育成を図ってまいります。

【関連事業】④県産材供給体制整備事業

（八千六百五十二万円）

⑤長野・オーストリア林業技術交流事業

（三百七十五万五千元）

⑥森のエネルギー総合推進事業

（二億三千九百三十二万円）

④ 様々な用途での県産材需要の拡大

身近な暮らしの中で「あたりまえ」に県産材を利用する機運の醸成を図るため、森林づくり県民税を活用して、地域住民が主体的に取り組む薪への活用や商店街等の木質化など、先進的な取組を進めるモデル地域の支援数を拡充してまいります。

また、公共施設の木造化・木質化については、シンボル性が高く波及効果が期待できる施設の整備に支援いたします。

【関連事業】④信州の木活用モデル地域支援事業（二千万円）

⑥木造公共施設整備事業（五億五千七百二十一万九千円）

森林を支える豊かな地域づくり

人口減少社会にあつて山村の活力を高めていくために、就労の場の確保や都市部等との移住交流が重要であり、主要な産業である農林業のみならず、森林空間、特用林産物、木工品等の地域資源を有効に利活用した「森林産業」を創出する取組や交流の取組などを支援してまいります。

また、依然として農山村に深刻な影響を与えている野生鳥獣被害の総合的な対策を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。



① 地域特性に応じた森林経営・森林資源の活用・交流促進

健康長寿県である本県には、森林のもつ癒し効果等を健康増進に役立てる「森林セラピー基地・ロード」が全国一認定されており、この強みを活かし、地方創生交付金を活用して、新たに森の癒し効果の実証実験に取り組み、各基地等の特長を活かした健康増進や精神疾患予防など、利用者のニーズに応じた体験プログラムを開発者と協働して開発するとともに、森林セラピーガイドの資質の向上を図る研修会を開催するなど、名実ともに全国一の森林セラピー県を目指します。

また、森林づくりやそれに伴う交流活動への企業参加を促進する森林(もり)の里親制度や子どもから大人まで幅広く木材に親しみ学ぶ機会となる木育活動について積極的に推進します。

さらに、地域が主体的に里山資源を継続的に利活用するため、林業研究グループ等が行う地域リーダー育成について支援してまいります。

【関連事業】㊦全国一の森林セラピー県推進事業(二百八万二千元)

㊧里山活用推進リーダー育成事業(三百万円)

② 第六十七回全国植樹祭、第四十五回全国林業後継者大会、「信州山の日」等を通じた信州の森林の魅力発信

全国植樹祭の開催準備として、全国植樹祭推進室を設置するなど実行体制を強化するとともに、会場整備や式典内容など具体的な事項をとりまとめた実施計画の策定等を進めます。「ひと ゆめ みどり信濃から 未来へつなぐ 森づくり」のテーマのもと、多くの県民の皆さんに参加していただけるように、プレイベントの開催など、長野県らしい大会となるよう取り組み、開催機運を盛り上げてまいります。

また、全国植樹祭の関連行事として開催する全国林業後継者大会については、実行委員会により、基本計画の策定、大会テーマの決定、広報啓発等を行い、大会が次代を担う林業後継者に夢を与え、その育成につながるように、着実に準備を進めてまいります。加えて、2年目となる「信州山の日」については、「信州の山に感謝し、守り、育て活かす」という制定趣旨の理解や山の日に関連した様々な取組への参



加を促進するため、「信州山の日」学校の開講、様々な媒体を活用した広報、市町村や民間企業等と連携した発信等により、「信州山の日」の定着と浸透を図ってまいります。

【関連事業】㊨第六十七回全国植樹祭推進事業(一億四千四百四万四千元)

㊩全国林業後継者大会推進事業(百八万七千元)

㊪「信州山の日」推進事業(二百八十四万二千元)

③ 信州ジビエの振興

二ホンジカの適切な捕獲を促進するとともに、捕獲した二ホンジカを地域の有用な資源として活用するため、信州産シカ肉を活用した商品開発や供給体制整備、人材育成を総合的に展開し、信州ジビエの需要拡大と安定供給を推進します。

【関連事業】㊫信州ジビエ活用推進事業

(四千三百五十三万七千元)

④ 野生鳥獣対策の推進

野生鳥獣に負けない集落づくりと長野県の自然・農業を二ホンジカから守るための緊急的な捕獲の促進を目標に、集落ぐるみの防除、捕獲、生息環境、ジビエ振興の各対策を総合的に実施してまいります。

最も大きな被害を発生させている二ホンジカの捕獲対策として、昨年度「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」の一部改正により新たに設けられた、環境大臣が指定した鳥獣を捕獲する事業を活用し、遠距離のため実施が難しかった標高の高い地域等で二ホンジカの集中的な捕獲を推進してまいります。

また、捕獲の担い手対策としては、昨年度から開始したハントー養成学校により、新たな狩猟者の確保に引き続き取り組むとともに、新たに高度な捕獲技術を備えた狩猟者を養成するための研修会を開催してまいります。

【関連事業】㊬指定管理鳥獣(二ホンジカ)捕獲事業(一億二千三百万円)

㊭鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業(二億四千四十八万七千元)

㊮狩猟のスペシャリスト養成事業(二百万円)

㊯ハントーデビュー支援事業(二百万円)



注：㊨平成二十七年当予算、㊩平成二十六年二月補正予算

木材利用工法の優良工事事例コンテスト

長野県県産材振興対策協議会

平成26年度の第5回優良工事事例コンテストの入賞作品を紹介します。

本年度は16点の応募があり、その内下の写真のとおり7点が受賞致しました。

長野県知事賞



中部森林管理局木曾森林管理署
木製梓谷止工(木曾郡木祖村)

中部森林管理局長賞



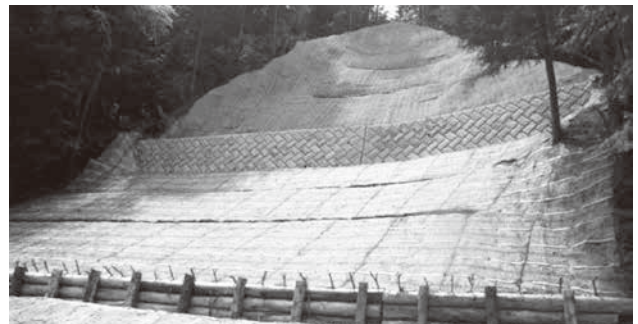
中部森林管理局南信森林管理署
木製谷止工(伊那市)

長野県治山林道協会会長賞



中部森林管理局東信森林管理署
木製橋梁・丸太安全防护柵(北佐久郡軽井沢町)

長野県森林組合連合会会長賞



中部森林管理局木曾森林管理署南木曾支署
木製谷止工・間詰木製梓工(木曾郡南木曾町)

長野県木連理事長賞

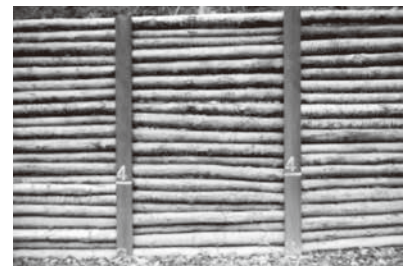


長野県上小地方事務所農地整備課
農村交流館(上田市)

県産材振興対策協議会会長賞 2点



長野県上伊那地方事務所林務課
丸太筋工(上伊那郡飯島町)



国土交通省天竜川上流河川事務所
落石防止工(下伊那郡大鹿村)

～森林の里親企業等の活動を「見える化」～

長野県「森林の里親促進事業」CO₂吸収評価認証制度

平成20年度から始まった認証は通算で12回を数え、年間認証量が2年連続で5,000二酸化炭素トンを超えました。

長野県では、森林(もり)の里親促進事業に基づく取組により間伐された森林のCO₂吸収量を知事が認証し、県内外の企業等のCSR活動の「見える化」を平成20年度から行っており、平成27年3月には通算12回目の認証を行いました。

森林CO₂吸収評価の対象とした間伐面積や認証量は増加傾向にあり、平成25・26年度には年間認証量が5,000二酸化炭素トンを突破。これまでの累計では延べ72件の認証を行い、認証量は延べ2万2,568二酸化炭素トンとなりました。

これは約9,800台の乗用車(1台当たりの年間CO₂排出量は約2,300kg/林野庁ホームページから引用)のCO₂排出量に相当するものです。



森に力を
Power to the forest.
地球に未来を
Future to the earth.



図(上)：認証制度のキャッチフレーズとロゴマーク
写真(左)：審査委員による現地調査(H26.11 小諸市)
写真(右)：認証式(H27.3 長野県庁)

認証年度	認証回	認証実績 (各回)				認証実績 (年度計)				適用
		認証件数 (件)	対象者数 (者)	間伐面積 (ha)	吸収量 (t-CO ₂ /年)	認証件数 (件)	対象者数 (者)	間伐面積 (ha)	吸収量 (t-CO ₂ /年)	
H20	1回	4	8	76	367	4	8	76	367	試行認証
H21	2回	9	13	202	1,139	9	13	202	1,139	
H22	3回	5	5	33	94	11	15	462	2,379	複数年認証開始(4回～)
	4回	6	10	429	2,285					
H23	5回	5	5	82	317	14	18	803	3,855	
	6回	9	13	721	3,538					
H24	7回	3	3	61	188	10	15	998	4,677	
	8回	7	12	937	4,489					
H25	9回	5	5	120	453	12	17	1,160	5,131	
	10回	7	12	1,040	4,679					
H26	11回	4	5	138	461	12	19	1,158	5,019	
	12回	8	14	1,021	4,558					
計						72	105	4,859	22,568	

(注) 計は延べ数。また、四捨五入により計と内訳が一致しない場合があります。



林業経営団地内の路網管理

「維持管理の指標(機能診断手法)案」

長野県森林整備加速化・林業再生協議会 路網部会

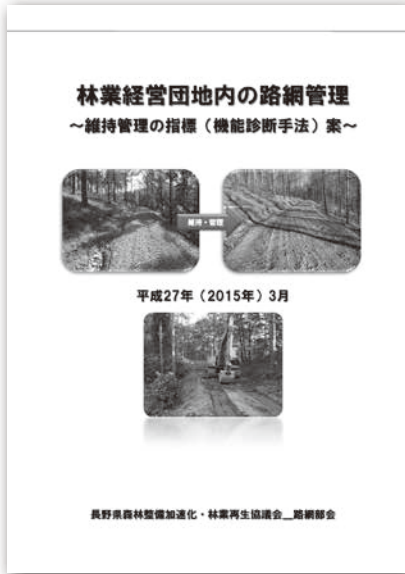
長野県森林整備加速化・林業再生協議会路網部会(事務局…一般社団法人長野県林業コンサルタント協会)では、「林業経営団地内の路網管理」維持管理の指標(機能診断手法)案」を取りまとめ、平成27年3月に林業事業者、市町村、林業関係機関等の皆様方に配付しました。

林業経営団地内に整備された路網は、木材の安定供給と需要創出を結ぶ重要な基盤で、その機能の適正な維持管理が今後の森林管理や林業経営に大きく寄与することになります。

本書では、林業専用道規格相当路線と森林作業道等を対象に、維持管理の指標(機能診断手法)に視点をあて、「林内路網の健全度指標」、「リスク判定」、「チェックリスト」などを記載し、維持管理の

参考として利用いただける内容にしています。

これまで管理されている林道、作業道の維持管理や今後林内路網を計画する際の参考図書として、様々な目的に応じて利用してください。



4月 記念市のご案内

- ◆ 製品 {花まつり市} 第41回全木協連優良国産材製材品展示会
 〈本部事務所〉 4月25日(土) セリ 売り出し9時 保証金 10万円
- ◆ 原木 『春季謝恩市』
 〈荻原事務所〉 4月28日(火) 入札開札 13時 保証金 10万円
 〈坂下事務所〉 4月23日(木) 入札開札 13時 保証金 10万円

5月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
新緑まつり 5月23日(土)	5月27日(水)	5月13日(水) 5月26日(火)	5月12日(火)

入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載
 ※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45
 ☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1
 坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0264-52-2483(代)
 ☎0573-75-3178(代)

FAX0264-52-4885
 FAX0573-75-3172



中部森林管理局

人事異動

(長官発令) 4月1日付

中部森林管理局局長

桂川 裕樹

中部森林管理局次長

(名古屋事務所長)

河野 充

中部森林管理局計画保全部長

江坂 文寿

富山森林管理局長

中島 孝雄

中信森林管理局長

中野 亨

東信森林管理局長

松井 正

木曽森林管理局長

松葉瀬裕之

南信森林管理局長

花村 健治

総務企画部企画調整課企画官

(業務調整担当)

愛知森林管理事務所長

丸山 和久

総務企画部企画調整課企画官

(業務調整担当)

伊那谷総合治山事業所長

小池新太郎

木曽森林管理局南木曽支署長

酒向 邦夫

総務企画部総務課長

油井章次郎

森林整備部森林整備課長

永井 隆雄

森林整備部資源活用課長

井上 武次

森林整備部技術普及課長

有井寿美男

森林整備部森林技術・支援センター所長

井上 隆裕

総務企画部専門官

(契約適正化担当)

洞口 儀弘

総務企画部専門官

(契約適正化担当)

片岡 清和

総務企画部企画調整課監査官

長瀬 貢

北信森林管理局次長

高嶋 正明

飛騨森林管理局次長

岩下 良治

東濃森林管理局次長

木島 伸悟

長野県林務部の

人事異動

平成27年4月1日付

林業公社 参与 河内 孝

林業大学校長 宮崎 広雄

県庁 課室

森林政策課

企画幹 長谷川健一

課長補佐兼企画係長

榎秋 隆哉

信州の木活用課

主任林業専門技術員

柴田 昌志

県産材利用推進室

課長補佐 中宿 恵司

森林づくり推進課

課長補佐兼治山係長

小澤 岳弘

鳥獣対策・ジビエ振興室

鳥獣保護管理係長

江住 和彦

鳥獣被害対策係長

小林 健吾

全国植樹祭推進室

室長 河合 広

企画幹兼課長補佐兼

総務企画係長

金井 伸樹

課長補佐兼招待接遇係長

中沢 道彦

課長補佐兼式典係長

越原 道廣

施設植樹係長

野本 彰

地方事務所林務課

上伊那 課長 山岸 貴

木曽 課長 松原 秀幸

松本 課長 丸山 勝規

長野 課長 宮原 登

林業総合センター

管理部長 今井 茂雄

指導部長 宮崎 隆幸



新たな森林保険制度スタート

「森林国営保険法等の一部を改正する法律」の施行により、新たな森林保険が平成27年4月1日よりスタートしました。これにより、これまで国の運営会で行われていた森林保険は、国立研究開発行政法人森林総合研究所へ移管され運営されることとなりました。具体的には、森林総合研究所内に新組織で



説明会の様子

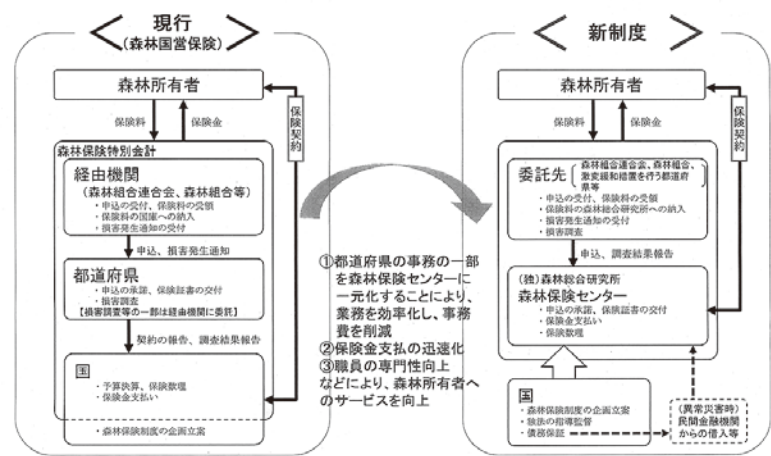
ある「森林保険センター」が設立され、これまで国や県が担ってきた業務を実施し、その業務の一部を森林組合系統等に委託することになります。

これに先立ち、3月26日に安曇野市三郷農村環境改善センターにおいて、森林保険担当者会議（主催…県森連）が開催されました。

この会議では新たな森林保険業務に関する森林組合連合会と森林組合との業務（再）委託契約に関する事項や、事務処理の変更点等について説明が行なわれました。

具体的な内容としては、事務処理の流れに大きな変更点はないものの、加入の申込みから有効期間の開始までに要する期間が、これまでより時間が掛かるようになってしまったこと等が注意点として

移管後の森林保険制度の枠組みについて



移管概略

挙げられました。

また、会議では県林務部造林緑化係の豊森孝弘担当係長より今後の長野県林務部の森林保険への関りについてお話を頂きました。

森林保険に関するお問い合わせは

お近くの森林組合または
長野県森林組合連合会(TEL026
122612504)まで

皆伝！刃物の極意

第八話 山林道具の刃物「砥石」

株式会社 大崎商店

代表取締役 大崎 久雄

刃物を扱う職業の人達には、切っても切れない道具として砥石がある。刃物のもつ性能を最大限に引き出すには、研ぐという行為が大事なことになる。一般に使われている砥石の90%以上は人造砥石である。近年、この人造砥石の性能は上がっている。実際に研いでみると、あまりの研削力には目を見張るものがある。力のある砥石には、ストロークの回数も少なく、それゆえ研ぎ角度も狂いにくい、という利点がある。

人造砥石の製法として、①ピトリファイド製法、②マグネシア製法、③レジノイド製法がある。①は、刃物と砥石との扱い付が良く研ぎ易く、刃付は早い。1200〜1300度の高温で焼いている為、研磨力に優れ、吸水性があるので、水切れが起こりにくい。この砥石は、中砥石で、代表的な砥石としてWA1000番がある。②は、砥石材料に結合材を使用し、セメントの様に乾燥させて作成される。この砥石は、水をつけただけで研げ、黒い研汁はすぐ出るのだが、ヌルヌルした、スベッタ研ぎになるため、使う人も是非が分かれる。水の中へ入れておくの

長野県林業

職員協会総会

3月27日に県林業センターにおいて「長野県林業職員協会」(会長 河手仁)の通常総会が開催されました。

総会は会長の挨拶、来賓祝辞に続き、河手会長を議長に進められ、平成26年度事業報告等の承認、平成27年度事業計画の決定が審議のうえ原案どおり承認・決定されました。

本会では、長野県下で林業に従事する職員がより一層の団結を行



総会の様子



原村で行なった技術競技会

い、このすばらしい森林を未来に継承していくための方策を見出すことを目的として様々な活動が行われてきました。平成26年度は、林業基本問題研究会として、茨城県つくば市の森林総合研究所や埼玉県の宮代町役場の視察研修を行いました。また、福井県にて開催された第41回中部6県職員連盟ブロック会議に出席し、各県職連の活動状況や課題等の協議・情報交換を行いました。県大会では林業技術競技会及び、豪雨災害による山腹崩壊の復旧作業現場の視察を原村および茅野市にて行いました。

長野県森連

コンプライアンス研修会

長野県森連では4月1日に林業センタービルにおいて全職員を対象とした職員会議およびコンプライアンス研修会を開催しました。

この研修会は系統運動、森林組合21世紀ビジョン3rdステージの中で謳われている、経営管理体制の強化と透明化の取り組みの一環として行われたものです。

研修会では、農林中央金庫関東業務部より講師として小蔵隆副部長をお招きし、コンプライアンスの定義からはじまり、パターンごとに見る不祥事の原因や防止策、対処方法などを学びました。

今回の補助金不正受給問題もあり、系統組織の信用の回復とコンプライアンス態勢の見直し、整備が急務とされる中、連合会職員として一人ひとりが責任と自覚を持ちコンプライアンスプログラムを実行していくことが求められています。

※コンプライアンス＝法令遵守、最近では法令のみならず、企業倫理や社会的道徳的規範も含めた「社会的要請への適応」という意味を持つ。

は禁止である。代表的な砥石として、クラウン中砥、仕上げがある。③は、人造粒子と天然粒子で作られており、不吸水性なので、使いたい時にはすぐ使え、研ぎ感、多少軟質ではあるが、仕上り具合は、天然仕上げには劣るが充分役目をはたし、美しく仕上る。代表的な砥石として、北山8000番、梨地模様6000番がある。

天然砥石は、明治の頃には、北は青森から南は九州まで各地で採掘が行われていた。その土地の砥石は、長い間表面と生き続けていたのである。鉄道の発達に伴い、優秀な砥石は全国に運ばれるようになった。とりわけ有名な砥石に京都産の「合砥」がある。この天然砥石が形成されたのは、今から二億五千万年前、陸地では恐竜が出現していた時期で、日本列島は、数千キロメートル離れた古赤道付近の深海底が、古大陸に向かって、一年に数センチ、五千万年の時を経て、東縁に到達した頃であったと考えられている。この事実が解かったのが、コノドント「放散虫」である。この虫は、赤道直下に生息している虫で、京都産仕上げ砥石の中に、黒いゴマの様な痕跡として見られたことから判明したのである。

天然砥石の価格は、数千円から数百万円まであり、最盛期には、京都の数十カ所で採掘されていた。一部大工職人、料理人、工芸家、彫刻定連ら、この天然砥石に魅せられている人は少なくない。

長野県の木材市況

平成二十七年四月十日発行 長野の林業通巻三〇三号

発行 長野の林業編集委員会
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内
(一社)長野県林業普及協会
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二二七)五〇一五
Eメール Nagari-center1@qa3.so-net.ne.jp
Eメール rfnuky@biga.ocn.ne.jp
電話〇二六(二二六)五六一〇

第951回 市売市況表

(平成27年3月24日実施)

長野県森林組合連合会 伊那 木材センター

Tel.0265-72-2684 Fax0265-76-8759

○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m)	中値(円/m)	気配	備考	
すぎ	3.0	直	16~18	13,500	11,000	○	3m柱材に引き合いあり	
		直	20上	10,000	7,000	○		
	4.0	直	22~28	16,000	12,000	○		
		元	30上	16,000	14,000	○		
		曲	14~18	6,000	5,000	△		
		曲	20上	8,000	6,000	△		
柿	3.0~4.0	元	20上	15,000	8,000	○	広葉樹の太物に高値人気 出品をお願いします	
楢	2.0~4.0	込	14上	15,000	12,000	○		
桧	4.0	直	26上	21,000	16,000	○	広葉樹の太物に高値人気 出品をお願いします	
桜	2.0~4.0	込	30上	50,000	35,000	○		
		直	14~18	10,000	8,000	-		
からまつ	4.0	直	20上	14,000	12,000	○		応礼活発
		曲	14~18	8,000	6,000	-		
		曲	20上	12,500	9,000	-		
		曲	18~22	8,000	6,000	△		
あかま	4.0	曲	24~28	10,000	8,000	△	時期も悪くなるので早めの出品をお願いします	
		直	30上	17,000	14,000	△		
ひのき	3.0	直	16~18	19,000	15,000	△	ひのき多く高齢級材に高値並材は安い	
		直	20上	17,000	14,000	△		
	4.0	直	16~18	20,000	17,000	-		
		込	20~28	25,000	18,000	-		
		元	36上	50,000	38,000	○		
		曲	14~18	13,000	10,000	△		
		曲	20上	14,000	12,000	△		
		直	40上	120,000	65,000	○		

出品量878㎡ 販売量871㎡ 落札率99% 買い方 38社

今回出品量少ない中ヒノキの高齢級材に高値がみられた。赤松はカビが入りやすいので良材は早めの出品をお願いします。樹種混載での出荷は当センターでの仕分け作業に手間がかかり、市売りへの出品が遅れますのでご了承ください。尚、合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時にはその都度(合法認定番号および合法木材であるコメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第953回 市売り市況表

(平成27年3月24日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m)	中値(円/m)	備考
すぎ	3.0~4.0	直	14~18	12,000	7,000	3.0m×14~18cm柱取り引き合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~40	30,000	10,000	
ひのき	3.0	直	14~24	20,000	14,000	値段横ばい。
	4.0	直	18~24	23,000	15,000	
	4.0	元	30~40	55,000	23,000	
からまつ	4.0	込	6~13	10,000	8,000	応礼活発。
		直	14~44	15,000	8,000	
		曲	20上	11,000	7,000	
あかまつ	4.0	直	20~34	20,000	12,000	
あかまつ	4.0	元	30~52	35,000	16,000	
		5.0~12.0	元	30~54	40,000	18,000
榎	3.0~4.0	一本売り	16~40	110,000	22,000	
榿	2.4~2.6	一本売り	58~76	180,000	62,000	広葉樹、応礼活発ご出品下さい。
くり	3.0~4.0	込	16~44	45,000	15,000	
樫	4.0	込	48	24,000		

出品量 3,891㎡ 販売量 3,642㎡ 落札率 94% 買い方 47社

今回良材の出品が少なかったものの応礼は多く、今後も需要は見込まれると思われます。土場の下ろし場も空いておりますので樹種問わず出荷をお願いします。尚、4月1日(水)は職員研修のため臨時休業とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第985回 市況表

(平成27年3月25日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m)	中値(円/m)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,500	9,000	直造材での出品下さい。
		直	20上	12,000	10,000	直造材での出品下さい。
	4.0	込	8~13	5,500	4,300	
		直	14~20	13,500	9,600	出品をお願いします。
		直	22~28	13,800	11,000	応礼活発出品をお願いします。
		直	30上	17,200	12,000	応礼活発出品をお願いします。
		曲	14~18	6,000	4,000	
		曲	20上	11,000	7,000	
		直	30~42	18,000	11,000	
		直	16~18	17,000		
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	8,500	応礼活発出品をお願いします。
		直	20上	16,800	11,000	応礼活発出品をお願いします。
		曲	14~18	5,100	5,000	
ひのき	4.0	直	16~18	17,000		
		直	20~28	22,800		
		直	30上	23,500		
けやき	5.0	本	68	151,100		
さくら	3.0	曲	38	61,100		

出品量 2,297㎡ 販売量 2,168㎡ 落札率 94.4% 買い方 43社

広葉樹、すぎの太目良材に引合集中し、活気ある市売りでした。春彼岸が過ぎ、新緑のシーズンを迎える中、赤松、広葉樹は早めの出材をお願いします。又、有利販売のために木口に泥等は付けずに丁寧な造材をお願いします。木材利用ポイント制度を活用される需要者のため、合法認定事業者の登録をお願いします。又出荷時にはその都度必ず【合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第461回 木材共販市況表

(平成27年3月26日実施)

出品量 1,500m³ ・ 買い方 19社 ・ 落札率 98.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ	末口径 cm	高 値 円	平均値 円	平均石値 円	備 考
ひのき	2.0	18~44	20,000	12,000	3,360	
		3.0	直 14	11,000	9,000	2,520
	4.0	元直 16	20,000	15,000	4,200	
		込 18~22	18,000	15,000	4,200	
		込 24~36	20,000	16,000	4,480	
		中込 16~22	15,000	14,000	3,920	
		込 24~28	16,000	15,000	4,200	
		元 30上	25,000	20,000	5,600	
		元直 16~22	18,500	16,500	4,620	
		元 24~28	28,000	21,000	5,880	
		30上	35,000	28,000	7,840	
		中直 12~14	9,000	8,000	2,240	
		込 16~22	18,000	15,000	4,200	
		込 24~28	18,000	15,000	4,200	
6.0	直 18~22	26,000	23,000	6,440		
	直 24~28	23,000	20,000	5,600		
4.0	12下	360	300		一本売り	
すぎ	4.0	込直 16~18	9,000	8,000	2,240	
		込直 20~22	10,500	9,000	2,520	
	3.0	24~28	12,500	10,000	2,800	
		30上	22,500	15,000	4,200	
3.0	18~22	8,500	7,500	2,100		
	24~32	8,500	8,000	2,240		
からまつ	3.0	直 14~22	5,000	4,500	1,260	
		込 12~14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	込 16	6,000	5,000	1,400	
		込 18~28	11,500	8,000	2,240	
	4.0	直 30上	13,500	8,500	2,380	
		小曲り 14~30	4,500	2,500	700	
	4.0	直 12下	360	270		一本売り
		直 22~28	10,500	8,800	2,464	
4.0	30~38	13,500	11,500	3,220		
	40~44	15,000	12,500	3,500		

総評
ひのき、出材少なく並材多くやや価格低調、欠点材には応礼なし。すぎは、特殊材、良材に少ないもの高値あり、価格は横ばい。からまつは、価格横ばい。あかまつ価格横ばい。出荷協力いただき、ありがとうございました。引き続き丁寧な造材を心がけてください。